

プラズマ・核融合学会誌

第85巻第2号

2009年2月

解 説	人工ダイヤモンドで放射線をはかる ～核融合炉用先進放射線検出器の開発～	金子 純一, 磯部 光孝	75
講 座	熱流を伴う反応性プラズマを用いた材料合成プロセス 2. CVD, 粒子合成への応用 2.1 熱プラズマの非平衡性を利用するプロセスと高温を利用するプロセス ...	渡辺 隆行	83
	2.2 メゾプラズマ CVD による高速低温堆積技術応用	神原 淳	88
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト			94
インフォメーション			95
幅広いアプローチ活動だより ⁽¹²⁾			
Plasma & Fusion Calendar			96
本 会 記 事			98
会員登録情報の変更／学会賞候補者の募集について／年会費自動引落しシステムのご案内 定 款			

表紙の絵

Adiabatic invariance is very useful in nonlinear wave-particle interaction theory for calculating effects like the ponderomotive force on untrapped oscillation-center orbits. However, if a particle gets trapped in a wave trough its oscillation-center velocity becomes that of the wave (i.e. zero in the wave frame). The figure shows the trapping of two particles launched with the same initial wave-frame energy but spatially separated by less than a wavelength. Remarkably, a suitably defined invariant is conserved even through such trapping events. (Robert L. DEWAR and Justin C.-C. YAP, Plasma and Fusion Research Vol.4, 001 (2009) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方に】本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、日本複写権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による内利用目的の複写はその必要はありません。（社外頒布用の複写は許諾が必要です）権利委託先：学術著作権協会 Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp
なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。
また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください、

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC) (222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA Tel 1-978-750-8400; Fax 1-978-646-8600)